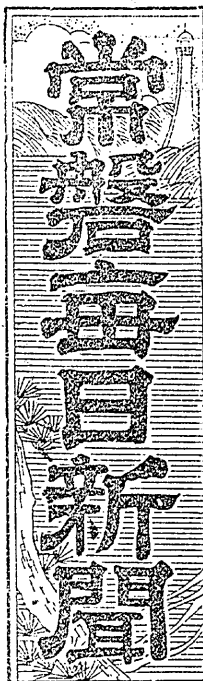


四月二日夕刊



定価 一月五拾銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
廣告料 五拾二文字 第一行 五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社
電話 六二〇番

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

そこで波流離國の國王は、
教へられた通り木けん子の
念珠一千具をつくり、これ
を六親眷族に頒ち與へて、
共に念誦しましたところが
その功德、廣大であつたと
いふのが念珠の起源であり
ます。次に『珠數功德經』と
いふのは、念珠の有り難
い功德が述べてあります。
し、金剛頂瑜伽念珠經とい
ふのは、念珠の製法がい
ろ／＼と説き明かされてあ
ります。

然らば念珠とは、單に釋
尊の御教へによつて偶然に
つくり出されたものかとい
ふに、決して然うではなく
既に過去無量劫の以前より
諸佛の説きたまふところで
あるといはれます。即ち『諸
佛境界攝眞實經』には『これ
過去、無量恒河沙の諸佛の
説くところ、一百八數を念
珠の量とす』とありまして
釋尊の説かれたのは、機に
隨ふ一つの縁に外ならぬも
ので、決して釋尊が新らた
に造り出されたものではない
、事實は佛出世前の無始
このかた、本來をなほつて
をる法則であり、おのずか
ら然るところの法の具であ
つて、その秘密の深き謂は

れは凡人の考へ及ぶべき限
りでないとい説かれてあま
斯くて二千五百年前、遠く
印度に形をあらはした念珠
はいろ／＼の尊い縁起や儀
軌を伴ふて日本に傳來し私
たち佛弟子の信仰生活には
無くて叶はぬ法器となつて
來たものであります。
三、念珠の種類とその
意味
念じゆの種類は、たまた
數と、その形と、それによ
つて分れてゐる各宗の區別
と、及びその意味について
眺めてゆかねばならぬと思
ひます。いづれも經典に據
るところがあるのは申すま
でもありません。
先づその數から申します
と、合計九種類あることに
なります。『金剛頂瑜伽念
じゆ經』により申すれば、
『念じゆを分別して上品と
最勝と中品と下品の四種』
あることになつて居ります
その上品とは一千八十じゆ
最勝とは一百八十じゆ、中品
とは五十四じゆ、下品とは
二十四じゆであります。と
ころが『校量じゆ數功德經』
により申すと前説とやゝ相
違し、『一百八顆をもつて滿
數とし、それを得ること能
ます。

文藝募集

又いづれも經典の意味を如
上の數字によつて表示した
ものであります。その謂は
れば矢張り後段に申し述べ
ます。

◎店員募集

年令十九才以上希望者は至急御來所を乞ふ委細
面談
平町鍛冶町

牛久製藥所
電話三八七番

外科

門 專 光 X
科 線

上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

◆景品付大賣出し

來る四月二十五日迄……
八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈
致します、是非御買上の程御願ひ致し
ます。

星野時計店
平町停車場通り

露披御車新

三四年型デラツクスセダンが
入荷致しました
貸切の御用命の節は
電話六八五番へ……
是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー
電話六八五番

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

旭屋一六銀行

御利用を盛んに御取扱中

四百二十五番の電話次第
御便宜直様御取運び致し
ます

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會
平町南町六九
電話一二七番

詳細は本會へ御問合せ下さい。



玉屋洋品店
平町南町通電話六五六番

耳鼻咽喉科専門

平町南町一六

大和田醫院
電話一七〇番

月曜是非

再検討の必要があると思ふ

だ、同時に、農村疲弊の眞因が奈邊に潜んで居るかを

匡救費の行方

嫁入り仕度の準備にもと殊勝な心掛けから、毎日村の匡救事業に出働して、零細な労働を稼ぎ貯めて居た村娘が、工事場で知合つた妻子ある仇し男と、手を取つて墮落し、警察の御危介になつたとの記事が最近の三面種として傳へられて居る。匡救事業の生んだ一挿話である。

村では匡救事業を福の神の來臨の如く有難つて、老ひも若さも、擧つて勞務に應じ、農閑期の別途収入を樂んで居る。借金で行詰つて居る農家救済の一方途として確かに喜ぶべきである然しながら、聞く處に依ると、村の血氣な青年達は此の思はざる別途収入に、氣がゆるんでか、此の金を費用に、遊興の味を覺える者も少なくないと云ふ。

農村を救済する筈であつた匡救費が、反つて純良な農村の子女の心身を腐らせるにあつては穩やかでない疲弊のどん底から更生の叫びを擧げやうとするには、餘程の意氣込みを持つて、立ち上がらねばならぬ筈だ、折角な汗の結晶を遊興の資に投ずる様なそんな生ぬるい精神では農村更生未しの感が深い。

郡下の匡救

工事竣工し

今は帳簿整理

平監督所管内四十七萬圓

平土木監督所管内の昭和八年度匡救土木工事は去る三十一日を以て全く竣功成り、目下帳簿整理中であるが工事箇所数は縣工事道路九ヶ所、町村工事二十七ヶ所(内道路二、河川三、港灣三)合計三十六ヶ所での工費總額三十一萬四千七百六十二圓である。

町村工事の内譯は道路が湯本町の一萬四千七百圓、内郷村の一萬一千七百圓、平の九千八百圓を始めとして二十一ヶ町村、十一萬六千六百圓、河川は内郷白水川、赤井茨川、勿來煙田川で

工費二萬圓、港灣は江名、豊間、小濱の三港で十三萬二千六百六十七圓であつたが尙この外に臨時特別工事として仁井田川、豊間港等の災害復舊工事十二萬、香後橋、古川橋等の二萬五千圓があつたので平土木監督所下の昨年度工事費は、四十七萬圓の巨額に達し此外夏井、藤原兩河川、四倉、小名濱兩

磐炭課長異動 磐城炭礦では勞務課長小島良利氏の本社榮轉による後任の補充を一日付で左の如く發令した

兼任課長 濱崎善三郎

兼任課長 齋藤祐治

兼任課長 販賣係主任

丹野教諭榮轉 平第一小學校商業專科訓導丹學哲夫氏は本日縣立會津中學校教諭に任命される七日頃赴任すると

義捐金が續々 平町より割當られた函館義捐金として長橋町は三十五圓四十錢舊城跡は三十七圓四十錢を二本平町役場に提出した尙磐中配屬將校大井川八郎氏は同じく金二圓を町役場經由で函館市に贈つた

校長の光榮

御親閲を贈る

恐懼して今夕上京の途に

平町の三小學校校長は來る三日皇太子殿下御降誕奉祝の爲め文部省主催で東京市に開催される全國小學校長の精神作興大會出席の爲め本日午後平驛發列車で上京する當日は大會開始前に宮城前廣場に於いて天皇陛下が御親閲を賜はる豫定なので光榮に浴する三校長は恐懼して居る尙郡下各小學校長

明日生徒が遙拜式

平町の三小學校では別項の如く三校長が明日午後二時より天皇陛下の御親閲を賜はる時刻に校庭に生徒を集め遙拜式を舉行する

平町人事

回出生

回婚

結婚

結婚

結婚

結婚

地は抽籤は三十日平町役場會議室で行はれたが敷地數は最初十三ヶ所であつたが既報の如く借地希望者の意向を參照し適當な場所九ヶ所を撰定しその代り借地料を一號地(五ヶ所)二十四圓三十錢、二號地(一ヶ所)十八圓、三號地(三ヶ所)十三圓五十一錢にそれ、増額収入の減少を防いだ當選は左の如し

一號地南町會川は江、紺屋町荒川魁新川町大沼忠衛、南町箕輪爲吉、鎌田山崎忠策、二號地鎌田管野くに、三號地材木町藤田儀三郎、鎌田高田澤二、新川町桑谷泰智

義捐金が續々 平町より割當られた函館義捐金として長橋町は三十五圓四十錢舊城跡は三十七圓四十錢を二本平町役場に提出した尙磐中配屬將校大井川八郎氏は同じく金二圓を町役場經由で函館市に贈つた

平町人事

回出生

回婚

日午前九時より同校で行はれるが卒業生左記の如くである

(本科)伊藤フサ子 今泉信子 沼田往子 織内利子 鹿志村のひ 川合千代 上遠野セイ子 赤津壽子 赤津ツヤ 金成昌子 金成ミツ 高萩静子 谷平サイ 竹内昌子 園部咲子 根本ヤイ 吉田力 草野三代 江尻芳枝 安藤里子 佐藤政子 野和恵 緑川シゲル 白鶴佐喜子 菅原登美代 鈴木みい 鈴木はふ子 鈴木キサ(師範科)二瓶タカヨ 吉田イクヨ 熊川ハツヨ 鈴木芳子(専攻科)石田美代子 猪狩タケヨ 本多カネエ 河内一代 高橋カツエ 根本ハルヨ 山田衛子 斑

目ツキ子 木村八重子 蛭田ナツ(裁縫専修科) 稻村サト子 橋本千枝子 原田芳枝 新妻ヨシ子 新妻ミツエ 岡田ミヨノ 萩野フデヨ 大熊美智子 渡邊龍子 和田千恵子 渡邊シナ子 上遠野ユキ 吉田嘉久 立原鶴子 高瀬花子 土屋ヲル子 村山榮子 園井フサ子 井ヒデ子 松本清子 崎ツル 遠藤フデ子 藤イト 江尻トミヨ 秋田シメヨ 齊藤ヨシ子 鷲ミトリ 白土綾子 鈴木ヒデ子 鈴木ヲル子 白石シメ 椎根トク 比佐直子 菅谷はる 鈴木ミサヲ(選科)岡田輝子 高萩シカ 山名ミサヲ 遠藤トシ子 柴崎玉枝 渡邊義子 山崎静子

旭硝子株式會社製品

板ガラス 硝子 菓子 壺 硝子 食器 其他各種

松崎硝子製作所 平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

磐城セメント會社特約店 久保屋商店 磐城平町五丁目 電話九番九九番

函館への木材搬送

平驛の發送貨物が激増

黒字時代到来

平驛貨物取扱は依然好成绩を示し去る三月中の成績も到着、發送ともに激増の一途を歩んでゐる即ち到着噸数は一万四千六百十三噸で昨年同月の八千三百三十一噸に較べ七割五分強の増加であり發送は五千七百七十九噸で同じく昨年の五千七百七十九噸に比して六割三分強の激増この

激増ぶりでこゝにも亦函館の復興への助力が見受けられる尚ほ去る二月の統計は到着一万三千八百三十七圓で九割二分の激増發送六千四百七十六噸で十五割といふ

大激増ぶりで収入も七千七百九圓で二千七百七十一圓の増加であつたとは鐵道も今までの不況による永き冬眼から覺めて猛然たるガソリンを現し二月、三月と到着、發送

賃金共に喜ばしき黒字の集群で正に鐵道万歳！

例年より六割以上の

受驗指導の

天才訓導が

平第二校を去る

惜まる、佐藤信義氏

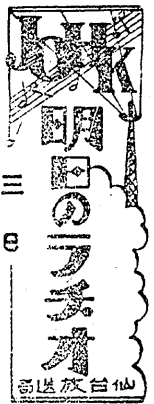
平第二小學校訓導佐藤信義氏は今回の教員異動により玉川小學校首席訓導に拔てき榮轉されたが同氏は上級進學の受驗兒童に對する指導に天才的

手腕をもつ良訓導と

平第二小學校訓導佐藤信義氏は今回の教員異動により玉川小學校首席訓導に拔てき榮轉されたが同氏は上級進學の受驗兒童に對する指導に天才的

手腕をもつ良訓導と

惜まる、佐藤信義氏



明日の天才

今晚の部

後六、〇〇 子供時間 童話劇「瘤」と物語「北村兒童歌劇協會」
後六、三〇 三都對局新進 勝拔將棋大手合
愛林、夕
後七、三〇 講演 農林大臣後藤文夫
後八、〇〇 ラヂオ風景 「山の四季」沙見洋外大勢

明日の部

後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
明日の部
前八、〇〇 神武天皇祭典(實況)奈色縣原神宮(より中継)
前九、三〇 子供の時間 「獨唱」松川良子 「管絃樂」 阪ラヂオオーケストラ
前〇、〇〇 記念講演

石山町議が重態

刻々危険状態迫り 一門憂色に閉さる

初登校のニコ顔

平町材木町建具商町會議員石山治三郎氏は数日前からの肺炎が悪化し今朝俄かに重態に陥り高久主治醫詰め切りにて酸素吸入を施して居るが持病の喘息が災して心臓が極度に弱つて居る為の依然危険状態を脱せず急を聞いて馳せ参じた近親知己が憂色に閉されて居る石山町議は殉職消防小頭として知られた故縁川佐伯氏の令弟にて二回町議に擧げられ重厚の資質は町議間に人望を博して研究會に重きを爲して居た最近愛婿忠三氏と共に苦心發明した石綿式のムシ籠の他地搬出に非常な繁忙を告げて居り末だ五十五歳の働か盛りである爲め人々には氏の再起を望むや切なるものがある

昨日の日曜で一日延びた父兄に伴はれ尋卒一年に初登校の市内三小學校入學式は午前八時より一齊に行はれ校長先生から進學に就いての注意や新入學生父兄への注意一年受持先生の紹介等があり入學兒童とその父兄は包みきれぬ喜びを顔一杯は漲した

「神武天皇御東遷二十六百年」國府種徳
前〇、三〇 講演 「神祇祭」と日本精神 文學博士植木直一郎
前一一、〇〇 第十一回全國選抜中等學校野球大會 試合實況(甲子園より中継)
後〇、五〇 雅樂
新人の午後
後一、一〇 義太夫「艶姿女舞衣」高田とら
後一、三五 歌謡曲 岡崎二郎 ビアノ伴奏小島勇次
後一、四五 琵琶「救世」關櫻豊

は今後毎月若干宛の金を贈り生活を保證することになり三十一日付で重美君宛慰問文を送付激勵した

失戀から

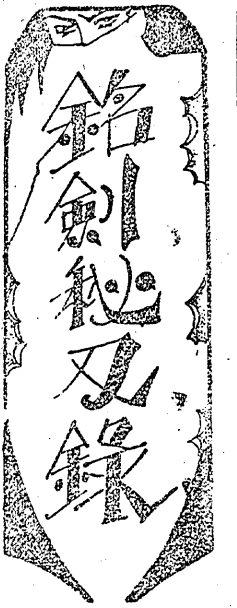
昨夜公園で

平町堂匠小路四六金成留八方居住東京市中野區生れ外交員土屋高義(二)は昨夜午後十時頃松ヶ岡公園四阿でカモチン四十錠を嚥下自殺企てたが苦悶中を通行人に發見され共濟病院に入院加療中であるが生命は取止めるらしい原因は失戀から

裁判所たより
△田人村大字旅人字下坪六村社(五)は昨年六月社中社殿の再建築を計る爲め工費七百五十圓の一部を一般より寄附を受けるに際し縣知事の許可なくして同行の眞船眞造を募集人として村内廿五名より五圓餘を徵收し略式で罰金十圓に近く平區裁判所に於いて處分されると

遺族の生活
郷軍が保證
銃後を支援
平町一丁目出身獨立歩兵第十八聯隊一等兵赤津重美君の家族は家計の柱である同君が入營後生活が困つてゐるので在郷軍人平町分會で

平職業紹介所報告
△人を求める方
△炊事婦 三十歳前後 給料面談
△女中 二十才前後 尋卒 給料面談
△出前持 十八―二十三歳位 尋卒 月十圓位
△職を求めの方
△商店員 十八才 南卒
△女中 二十才 尋卒
△事務員 二十八歳 南卒
△電気職工 二十九歳高工



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 書

第九十五回 徳川家に崇る村正

先生にもお縄を

横澤、白旗、本多の三人は、大いに驚き

三「鈴木、これはどうした譯だ、貴公は繩に掛らんがどういふ譯だ」

鈴木重太郎ニツクリ笑つて

重「先生方御心配御無用、これより手前が宜い處へ御案内致します何と珍趣向でござらう」

横「珍趣向だ、趣向にしては餘り念が入り過ぎてゐるではないか、全体我々をこれより何處へ案内するのだこれ鈴木、早く繩を解かんか」

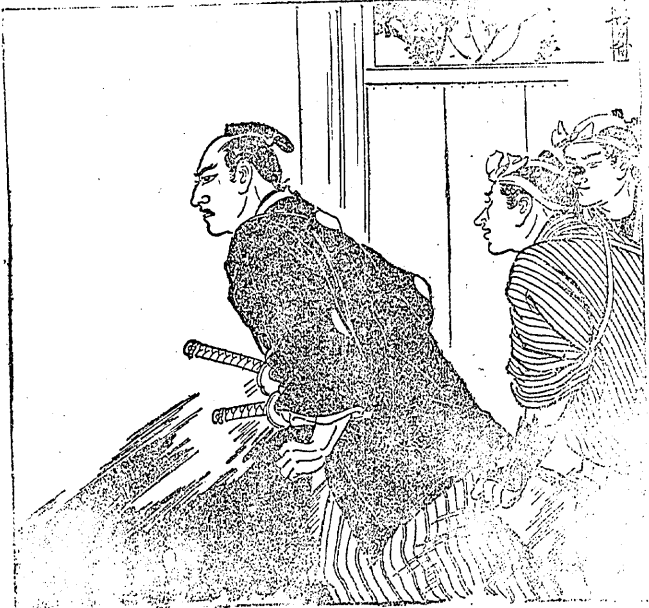
重「黙れッ、拙者を何と心得る、八丁堀同心鈴木重太郎、汝等を召捕らんため今日まで偽つて居つたのだ、これより北町奉行まで案内してやるから神妙にしてゐろ」

イヤ三人口惜しがらまいことか

白「何等の科あつて我々を召捕つた」

重「とやかく申すな出る處へ出て申開きをしろ、ソレこの三人を引き立てろ、駕籠を持つて來て三人を乗せる、成程駕籠のにつけ

られたに違ひないが縛つてのせられた、もう手を付けたからには猶豫してゐて肝腎の水上を取り逃がす様な事があつてはならないから直ぐに五太夫も召捕らといふのでチャンと手筈も極めてあるから駕籠の方には十



人ばかりの者が附いて北町奉行所へ送り、重太郎は其の他の者を引き連れて青山七丁目へ引き返す、七日目の自身番には與力一名同心二名出張して居り、水上の道場の周圍は遠巻にスツカリ取巻いてしまつた

重「各々御苦勞でござる、只今三名は召捕つて送りまして、即刻水上方へ御出張を願ひませう」

三「今日は何か氣持ちが悪いといふので早くから寝てしまひました」

重「それが大儀であつたといふもながら貴公の働き感謝の外はない」

與力を始め同心も鈴木の手腕に敬服してゐる、本來しなないものだが何か大事な時に出張をする、ソレ出掛けろといふので一同水上の道場の裏表を嚴重に固めてしまひました、もう夜も更けてゐるので表の門は締めてある、裏口の木戸の方は三人が留守なので締り

三「今日は何だか氣持ちが悪いといふので早くから寝てしまひました」

重「それが大儀であつたといふもながら貴公の働き感謝の外はない」

重「それは出かした、他に門人達は泊つてゐないか」

三「三人の師範代が留守だといふので皆何處かへ遊びに行つてしまつて誰も居りません」

重「そうか、それは幸だ他の門弟には別に罪もないのだから居ない方が始末が良い、表門を開けてくれ」

三「長りました」

表門を開け、玄關の戸を開けた

奥で五太夫が呼んでゐる

三「はい、只今」

五「何だ大層騒がしいではないか」

三「まあ先生來てござらんさい、綺麗でござりますよ提灯行列で……」

そんなことは言はなかつたらう、餘り騒々しいので不審に思つた水上五太夫が寢巻の紐を締め直してこは

武士の心得、脇差を手に提げて玄關へ出て來て見て驚いた、御用と書いた提灯が澤山列んでゐる、五太夫がヨツとしたがまだ自分の舊悪が露顯したとは思はない殊に依つたら由松の一件だらうが別に證據のないことだ、何とか言つてごまかせ

三「これは、鈴木の旦那首尾はどうでございました」

重「三人の始末はしたが五太夫は何をしてゐる」

三「これは、鈴木の旦那首尾はどうでございました」

重「三人の始末はしたが五太夫は何をしてゐる」

三「これは、鈴木の旦那首尾はどうでございました」

重「三人の始末はしたが五太夫は何をしてゐる」

三「これは、鈴木の旦那首尾はどうでございました」

三「今日は何か氣持ちが悪いといふので早くから寝てしまひました」

重「それが大儀であつたといふもながら貴公の働き感謝の外はない」

與力を始め同心も鈴木の手腕に敬服してゐる、本來しなないものだが何か大事な時に出張をする、ソレ出掛けろといふので一同水上の道場の裏表を嚴重に固めてしまひました、もう夜も更けてゐるので表の門は締めてある、裏口の木戸の方は三人が留守なので締り

三「今日は何だか氣持ちが悪いといふので早くから寝てしまひました」

重「それが大儀であつたといふもながら貴公の働き感謝の外はない」

三「今日は何か氣持ちが悪いといふので早くから寝てしまひました」

御通學には

魂の這入つた

フタバの自轉車で

責任保證付。總クローム
東京製 新車 二十五圓ヨリ
一年保證中古車 十圓前後

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

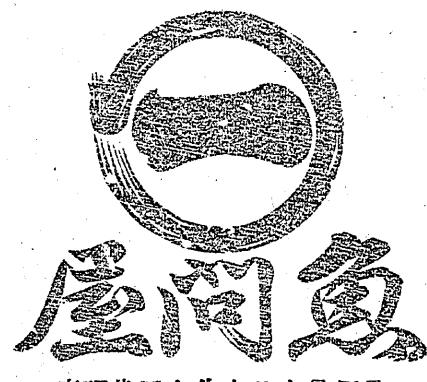
見習生二名採用

松ヶ岡公園櫻花廣告燈規定

- 一、櫻花廣告燈は満開の時期を見斗ひ約十日間点火するものとす。
- 二、櫻花廣告燈は左の二種に定め申込氏名、屋號、商品名等を記載点火するものとす。
- 三、常組は特に左記破格料金にて奉仕致します。
(イ) 岐阜形提灯壹燈ニ付 金壹圓五十錢
(ロ) 六角燈雪洞壹燈ニ付 金貳圓貳十錢
- 四、廣告圖案等は主催者に御一任を願ひます。
- 五、不可抗力の爲め破損せる場合は止を得ざるものとす。
- 六、申込切は四月五日迄とす。

主催 平消防組
後援 平町役場

御土産には
ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈魚の子



最優最良 日本生命代理店
志賀盛榮
平四丁目(電二一三)